

様式第1号（第2条関係）

工事起工（変更）概要書

市		副		部		課		補		主		係		課	
長		市長		長		長		佐		査		長		員	

施 工 年 度	令和4年度	工 事 名	4須田地区雨水排水路清掃業務委託	設 計 書
---------	-------	-------	------------------	-------

施 工 場 所 等	神栖市 太田 地内
-----------	-----------

設 計 概 要	変 更 理 由
清掃工 運搬処理工	L = 3 1 8 m N = 1 式

費 目	起 工	第 回変更	第 回変更	増 △減
起 工 額				
請負に付する額又は請負額				
工 事 価 格				
測 量 試 験 費 又 は 工 事 雑 費				
消 費 税 相 当 額				
請 負 決 定 額				

変更工事価格算定基準	変更工事価格	=	変更積算工事価格	×	請負比率	$\left[\frac{\text{起工時の請負決定額}}{\text{起工時の請負に付する額}} \right]$																																			
	<table><tr><td colspan="6">変更積算工事価格</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	変更積算工事価格												×	<table><tr><td colspan="6">請負比率</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	請負比率												=	<table><tr><td colspan="6">変更工事価格</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	変更工事価格											
変更積算工事価格																																									
請負比率																																									
変更工事価格																																									

神 栖 市 役 所

工 事 数 量 総 括 (内 訳) 表

第 04-50-001-H-004 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金 額	細 別 内 訳
道路維持				式		
			1			
道路清掃工				式		
			1			
排水施設清掃工				式		側溝清掃(機械) 318.000 m
			1			
仮設工				式		
			1			
交通管理工				式		交通誘導警備員 3.000 人日
			1			
直接工事費計				式		
			1			
共通仮設費（率計上）				式		
			1			
共通仮設費計				式		
			1			
純工事費				式		
			1			
現場管理費				式		
			1			
工事原価				式		
			1			
一般管理費等				式		
			1			
工事価格				式		
			1			
消費税相当額				式		
			1			
請負工事費				式		
			1			

本 工 事 費 内 訳 書

第 04-50-001-H-004 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
道路維持									
道路清掃工									
排水施設清掃工									
側溝清掃(機械)						m			
					318.000				
側溝清掃工(機械清掃組合せ作業) 清掃作業 作業量区分(0.125m2以上0.5m2未満 50%未満),排水管清掃車機種(高圧水洗浄式(ジェット式5.3~5.8m3)),排水管清掃車使用区分(持込),側溝清掃車機種(ブロワ式ホッパ容量4.5~5.0m3),側溝清掃車使用区分(持込),散水車機種(散水車なし),機械供用日当り運転時間t(標準)						m			
					318.000				
側溝蓋撤去・設置 側溝蓋1枚当り質量(80kgを超え120kg以下)						枚			
					5.000				
土砂等運搬 土砂等発生現場(標準),積込機種・規格(ハック山積0.45m3(平積0.35m3)),土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無)(39.0km以下)						m3			施工P 第0001号代価表
					58.900				
側溝汚泥処分 A×1.6						t			
					94.240				
仮設工									
交通管理工									
交通誘導警備員						人日			
					3.000				
交通誘導警備員B						人日			
					3.000				
直接工事費計									
共通仮設費(率計上)									

本 工 事 費 内 訳 書

第 04-50-001-H-004 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費計									
純工事費									
現場管理費									
工事原価									
一般管理費等									
工事価格									
消費税相当額									
請負工事費									

第 0001 号 代価表 土砂等運搬

施工P(機47.71%, 労37.09%, 材15.20%, 市0.00%)

第04-50-001-H-004号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	47.710	%			K1
運転手 (一般)	37.090	%			R1
軽油 1.2号	15.200	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 土砂等発生現場	1	標準
J02 積込機種・規格	3	バックホウ山積0.45m3 (平積0.35m3)
J03 土質	1	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J04 DID区間の有無	1	無し
J09 運搬距離 (km) (DID区間無)	12	39.0km以下

単 価 登 録 一 覧 表

第 04-50-001-H-004 号

実施 起工 設計書

単価コード	名 称 / 規 格	単 位	単価	摘 要
TJ000010	側溝汚泥処分 A×1.6	t		材料 20210501

施 工 単 価 一 覧 表

第 04-50-001-H-004 号

実施 起工 設計書

単価コード	名 称 / 形 状	単 位	単価	摘要
WB010212	交通誘導警備員B	人日		
WB433330	側溝清掃工(機械清掃組合せ作業)清掃作業 作業量区分(0.125m2以上0.5m2未満 50%未満),排水管清掃車機種(高圧水 洗浄式(ジェット式5.3~5.8m3)),排水管清掃車使用区分(持込),側溝清 掃車機種(プロワ式ホッパ容量4.5~5.0m3),側溝清掃車使用区分(持込), 散水車機種(散水車なし),機械供用日当り運転時間t(標準)	m		
WB433430	側溝蓋撤去・設置 側溝蓋1枚当り質量(80kgを超え120kg以下)	枚		

施 工 パ ッ ケ ー ジ 単 価 一 覧 表

第 04-50-001-H-004 号

実施 起工 設計書

単価コード	名 称 / 形 状	単 位	単価	摘要
CB210110	土砂等運搬 土砂等発生現場(標準), 積込機種・規格(バックホ山積0.45m ³ (平積0.35m ³)), 土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無) (39.0km以下) [軽油(1. 2号)]	m ³		代価表 第0001号

処 分 費 集 計 リ ス ト [積上分]

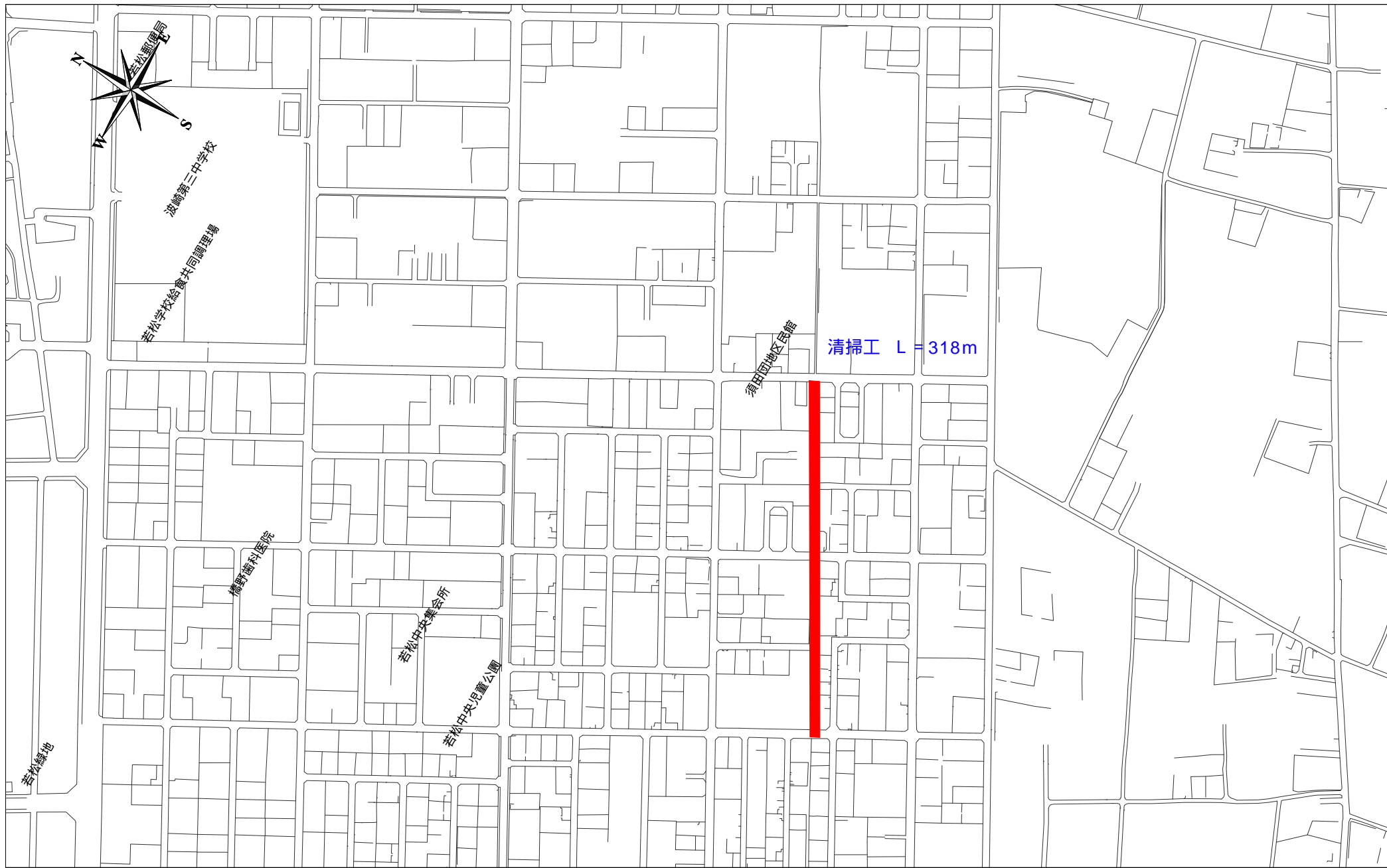
第 04-50-001-H-004 号

実施 起工 設計書

単価コード	名 称 / 規 格	数量	単 位	金額	摘要
TJ000010	側溝汚泥処分 A×1.6	94.240	t		20210501

	堆積厚 (m)	平均厚 (m)	延長 (m)	水路幅 (m)	堆積量 (m³)
	0.25	0			
水路 3	0.1	0.175	150	1	26.25
B O X 3	0.25	0.175	8	1	1.4
水路 4	0.15	0.2	152	1	30.4
B O X 4	0.05	0.1	8	1	0.8
計			318		58.85

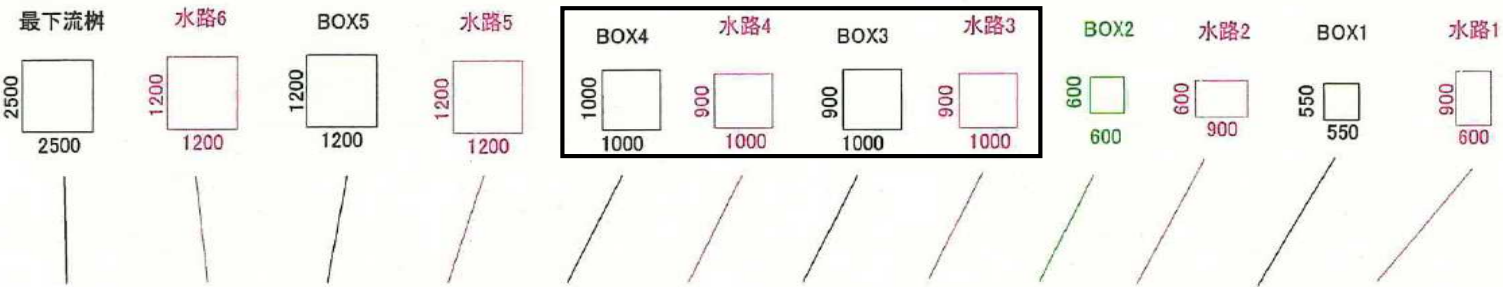
合計 58.9 m³



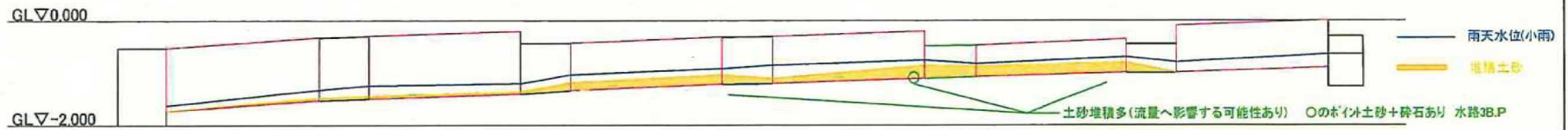
清掃工 L = 318 m

断面図

水路 BOX内径



縦断面図



水路天端	-0.537	-0.331	-0.306	-0.211	-0.441	-0.323	-0.313	-0.208	-0.483	-0.362	-0.040	0.000
水路底	-1.737	-1.531	-1.506	-1.411	-1.341	-1.223	-1.213	-1.108	-1.083	-0.962	-0.940	-0.900
雨天水位	-1.637	-1.331	-1.256	-1.211	-1.041	-0.923	-0.863	-0.758	-0.733	-0.662	-0.740	-0.650
側溝高(内径)	1.200	1.200	1.200	1.200	0.900	0.900	0.900	0.900	0.600	0.600	0.900	0.900
土砂堆積高	0.000	0.050	0.050	0.050	0.150	0.250	0.100	0.250	0.250	0.200	0.000	0.000
有効水位高 (水路高-土砂堆積高)	1.200	1.150	1.150	1.150	0.750	0.650	0.800	0.650	0.350	0.400	0.900	0.900
水路NO.	6E.P	6B.P	5E.P	5B.P	4E.P	4B.P	3E.P	3B.P	2E.P	2B.P	1E.P	1B.P

雨水排水路清掃業務委託仕様書

1. 目的

この仕様書は、雨水排水路清掃業務受託者の業務について、その業務要領を定める事を目的とする。

2. 委託業務の履行

要求された排水路機能を十分に達成できるよう、仕様書及び契約書に基づき、委託業務を円滑に履行する事。

3. 委託業務の場所

別紙図面のとおりに

4. 委託業務の内容

- (1) 排水路内除草・収集・運搬・処分
- (2) 排水路内清掃
- (3) 排水路内汚泥と根幹を分別し、各々積込・運搬・処分

5. 業務の完了及び検査

業務が完了した際は速やかに竣工書類を作成し、業務完了報告書と共に監督員へ提出する事。また、検査員の求める完了検査に応じる事。

6. 汚泥処理の取り扱いについて

本業務にて発生する建設汚泥については、道路その他を汚損する事の無いよう密封型運搬車両を使用し、各県知事の認める指定処理施設に搬入を行い、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「神栖市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」に基づき適正に処理を行う事。また、以下の書類を竣工書類に添付する事。

- (1) 産業廃棄物搬出量調書
- (2) 産業廃棄物管理票（マニフェストE票）の写し

7. 汚泥処理の外部委託について

建設汚泥の運搬・処分に関する業務を外部業者等に委託する場合は、産業廃棄物処理委託契約を結ぶ事。また、委託契約後速やかに以下の書類を監督員に提出する事。

- (1) 産業廃棄物運搬収集・処分業許可証の写し
- (2) 産業廃棄物処理委託契約書の写し

8. 委託業務中の安全管理

委託業務中は作業従事者並びに第三者への適切な安全策を施し、災害発生の防止に努める事。また業務を行うにあたり、一般交通に支障を及ぼす場合は、監督員と協議の上、警察署等へ道路使用許可を申請し、適切な交通規制において業務を実施する事。申請に要する書類は委託業者において作成を行う事。

特 記 仕 様 書

a. 分別解体等・再資源化等〔建設リサイクル法の対象建設工事〕

1. 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されてるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

① 分別解体等の方法

工程 ごとの 作業 内容及 び 解体 方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法(※)
	①仮設	仮設工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

※「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

② 再資源化等をする施設の名称及び所在地

別紙参照

③ その他

仮置き等必要条件があれば記載する。

2. 請負者は、分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、別添様式1により監督員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

b. その他

工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

(様式-1)

リサイクル計画書（詳細・積算段階）

1. 設計概要

発注機関名	神栖市役所 道路整備課
工事名	4須田地区雨水排水路清掃業務
施工場所	神栖市 太田 地内
工事概要等	水路清掃工 N=1式 運搬処理工 N=1式
工期(予定)	

2. 建設資材利用計画

建設資材	①利用量	②現場内利用	③再生材利用量	④新材利用量	⑤再生資源利用率 (②+③)/(①x100)	備 考
土砂	m ³	m ³	m ³	m ³	%	
砕石	ト	ト	ト	ト	%	
アスファルト混合物	ト	ト	ト	ト	%	
他産業からの再生材						

3. 建設副産物搬出計画

指定副産物の種類	⑥ 発生量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への 搬出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩最終処分量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥x100)	⑫有効利用率 (⑦+⑧+⑨)/⑥x100	
建設発生土	第1種 建設発生土							
	第2種 建設発生土							
	第3種 建設発生土							
	第4種 建設発生土							
	泥土(浚渫土)							
	合計							
コンクリート塊	ト	ト	ト	ト		%	%	
アスファルト・コンクリート塊	ト	ト	ト	ト		%	%	
スラック材	ト	ト	ト	ト		%	%	
建設汚泥	94.24m ³	m ³	m ³	94.24m ³		%	100%	

*建設発生土の区分（既存資料から判断するものとする。）

①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。

②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

*建設発生木材の中には、伐間除根材及び剪定材を含む。

*利用量等は、現時点で算出可能なものを記載する。

④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。（第3種建設発生土を除く）

⑤泥土（浚渫土）・・・浚渫土のうち概ねq c 2以下のもの。

<参考> 重量換算係数 (ト/%)

項 目	荷積み状態での換算値		実体積による換算値
	建廃がイトライン値(注1)	参考値(ト/%)	参考値(ト/%)
建設汚泥	1.2～1.6	1.4	1.4
コンクリート塊	(建設廃材)	1.8*注2	2.35 (無筋)
アスファルト塊	1.6～1.8	1.8*注2	2.35
建設発生木材	0.4～0.7	0.5	
金属くず	1.4～2.0	1.5	

注1：建廃がイトライン値：（「建設廃棄物処理がイトライン」厚生省生活衛生局水道環境部産業廃棄物対策室監修）による値

注2：これは運搬時における空隙を多く含む状態での標準的な換算値である。

項 目	荷積み状態での換算値	
	建廃がイトライン値(注1)	参考値(ト/%)
廃プラスチック	0.1～0.3	0.2
建設混合新築	—	0.31注3
廃棄物木造解体	—	0.816
アスベスト	—	0.25
砕石	—	—

注3：建設混合廃棄物の新築は（社）建築業協会の調査結果（H2.9.30）、木造解体は「関東木造建設解体業連絡協議会」の調査結果（H3.3.4）による。

注4：盛土状態での換算値。（「道路橋示方書・同解説」（社）日本道路協会）等による値。